

「GUAM+日本」共同プレスリリース

2018年9月24日、ニューヨークにおいて、第73回国連総会にあわせて、第6回「GUAM+日本」外相級会合が開催された。

GUAM側からは、エルマル・メメディヤロフ・アゼルバイジャン共和国外相、ダヴィト・ザルカリアニ・ジョージア外相、トウドル・ウリアノブスキ・モルドバ共和国外務・欧州統合相（GUAM議長）、セルヒー・キスリツァ・ウクライナ外務次官、アルタイ・エフェンディエフGUAM事務局長が出席した。

日本側からは、河野太郎日本国外務大臣が出席した。

双方は、国連憲章に記されているものを含め、普遍的に認められている国際法の規範や諸原則を再確認し、主権の尊重、領土の一体性や国際的に承認された国境の不可侵といった原則に基づく、GUAM地域における紛争の可及的速やかな解決に向けた国際的な努力の重要性を強調した。双方は、法の支配、民主主義、人権といった普遍的価値の尊重に対するコミットメントを想起した。

双方は、地域的・国際的課題に関して意見交換を行い、地域又は地域間レベルでの平和、安全保障、繁栄及び安定の確保を目的とした、日・GUAM協力の強化の最大級の重要性を強調し、将来その結束を広げ、強化し続けることへのコミットメントを再確認した。双方は、第3回「GUAM+日本」外相級会合（2015年12月3日、ベオグラード）において署名された「日・GUAM協力プログラム」を実施していく強い意図を表明するとともに、同プログラムに記されている共通の関心分野における日・GUAM協力を一層拡大し、深化させるための新たなプロジェクトの策定と実施の必要性を強調した。

GUAM諸国は、日本に対し、様々な共通の関心分野に関するワークショップを毎年開催するなど、「GUAM+日本」協力への日本のコミットメントに対し、感謝の意を表した。双方は、2018年1月28日－2月3日に日本で開催された中小企業振興ワークショップの成果を歓迎した。双方は、明年日本において投資促進ワークショップを開催することを決定した。

日本側は、GUAM諸国が観光振興ワークショップ（2017年1月29日－2月4日、東京）のフォローアップとして、本年末までに日本のマスメディア向けのプレスツアーを実施することを決定したことを歓迎するとともに、中小企業振興ワークショップを含め、ワークショップ後のGUAM諸国間のフォローアップの協力を後押しする用意がある旨表明した。

双方は、「GUAM+日本」協力のみならず、地域的及び地球規模の幅広い課題について、ハイレベルの対話を維持する関心と用意を再確認した。

次回の「GUAM+日本」会合の日時及び場所については、外交ルートを通じて決定される。